OL_200024-03omote.pdf 2005/03/23 11:11:40

I-O DATA

USB 2.0対応 無線LANアダプター

WN-G54/USかんたんセットアップガイド

本紙では、無線LANアダプター（WN-G54/US）をセットアップし、無線LANアクセスポイントと通信するまでの方法を説明しています。

M-MANU200024-03

お使いのパソコンを確認してください

パソコンにUSBポートとCD-ROMドライブがあることを確認してください。

※本製品は、USB 2.0/1.1の各インターフェイスに対応します。USB 2.0環境での動作は、弊社製USB 2.0インターフェイスおよびIntel社製チップセット搭載パソコンのUSB 2.0インターフェイスにて確認を行っております。（お使いの各OSにより、ドライバが必要な場合があります。詳しくは別紙【必ずお読みください】をご覧ください。）その他のインターフェイスとの動作対応については、各インターフェイスメーカーにお問い合わせてください。

注意

- 対応OSは、Windows XPとWindows 2000です。
- 無線USBアダプターは、無線LANをご利用になるパソコンへ挿入します。パソコン以外でのご利用で生じた損害、トラブルに関しては、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 無線USBアダプターをインストールする前に、無線アクセスポイント（またはルーター）の取扱説明書を参照して、あらかじめ設置をしておいてください。
- 無線USBアダプターは本紙によってセットアップができるため、冊子のマニュアルは添付しておりません。より詳しい設定方法や取りはずし方については、WN-G54/USサポートソフトCD-ROMに収録されているWNシリーズオンラインマニュアルをご覧ください。（オンラインマニュアルの見かたについては、別紙の［必ずお読みください］をご覧ください。）
- 省電力モード（スタンバイ、レジューム、ハイバネーション）には対応しておりません。
- USB2.0Host Controller搭載の機種をご使用の場合に「Windows XPホットフィックス-KB822603」をインストールしてください。Windows UpdateやMicrosoft社のWebサイトより入手できます。

1 インストールします

ここではまだ本製品を挿入しないでください。

下記の作業は、無線LANアダプターをパソコンに挿入しない状態で行います。
無線LANアダプターの接続は、下記の作業中に行います。
※無線LANアダプターを挿入してしまった場合は、オンラインマニュアルの【困ったときには】をご覧ください。

① Windowsを起動します。

管理者権限またはAdministrators権限のあるユーザーでログインします。
※起動中のアプリケーションをすべて終了してください。

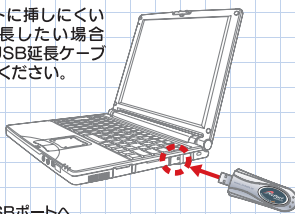
② WN-G54/USサポートソフトCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

③ メニュー画面が表示されますので［クイックセットアップ］をクリックします。

※画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］を開き、CD-ROMをダブルクリックします。

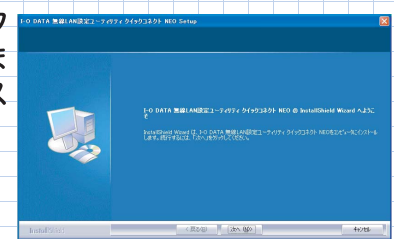
④ ［開始］ボタンをクリックします。

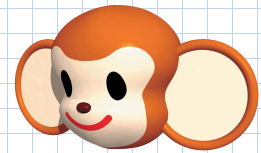
⑤ 表示された画面で［インストール］をクリックします。
このあと表示される注意の内容をご確認ください。

⑥ 「USBポートに製品を挿してください」と表示されたら、本製品をパソコンのUSBポートに奥までしっかりと挿入します。

パソコンのUSBポートへ
※USBポートの位置はお使いのパソコンによって異なります。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

注意 USBポートが複数の場合、インストール時に本製品を挿入したUSBポート以外では認識されません。他のUSBポートで使用する場合は、再度ドライバのインストールが必要となります。

⑦ インストール中に他の操作をしないでください。「インストールが終了しました」と表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

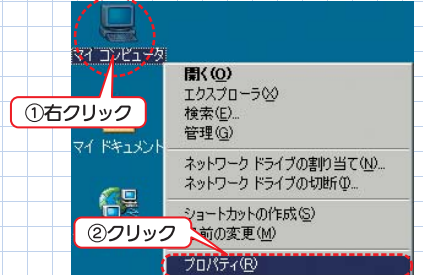
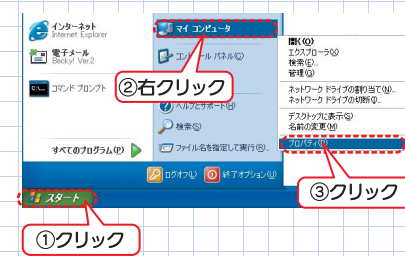
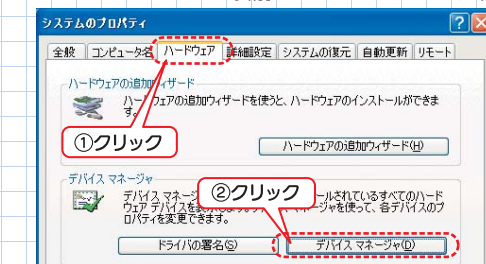
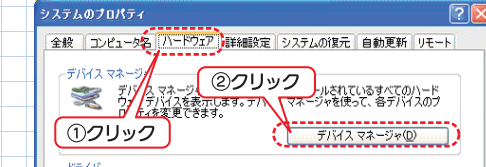
⑧ 次に、設定ユーティリティ（クイックコネクトNEO）をインストールします。画面の指示にしたがってインストールしてください。

参考 ●WindowsXP/2000でインストールに失敗した場合は、管理者権限またはAdministrators権限のあるユーザーでログインしていないことが考えられます。管理者権限またはAdministrators権限のあるユーザーでログインしてインストールしてください。

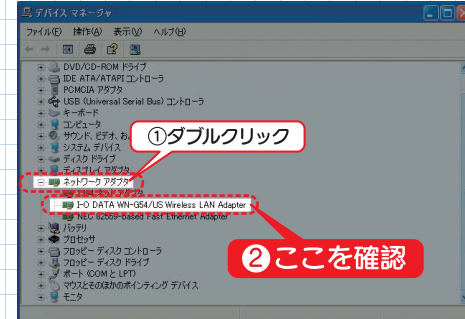
2 インストール状態を確認します

Windows XPの場合

① ［スタート］をクリックし［マイコンピュータ］を右クリックして［プロパティ］をクリックします。

Windows 2000の場合

① ［マイコンピュータ］を右クリックし［プロパティ］をクリックします。

② ［システムのプロパティ］画面が表示されますので、［ハードウェア］タブをクリックして［デバイスマネージャ］をクリックします。

▼Windows XP SP1以前、Windows 2000の場合

▼Windows XP SP2の場合

③ ［デバイスマネージャ］画面で［ネットワークアダプタ］をダブルクリックします。

①ダブルクリック
❷ここを確認

●ここを確認

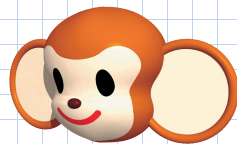
［ネットワークアダプタ］の下に［I-O DATA WN-G54/US Wireless LAN Adapter］と表示されていることを確認します。その頭に［!］マークが表示されていないことも確認します。確認できたら右上の［×］ボタンをクリックして画面を閉じます。

注意

- ［I-O DATA WN-G54/US Wireless LAN Adapter］が無い場合は…
- 頭に［!］マークがある場合は…

→別紙の［必ずお読みください］をご覧ください。

裏面へ進んでね!!

3 アクセスポイントと通信する

❶ アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。

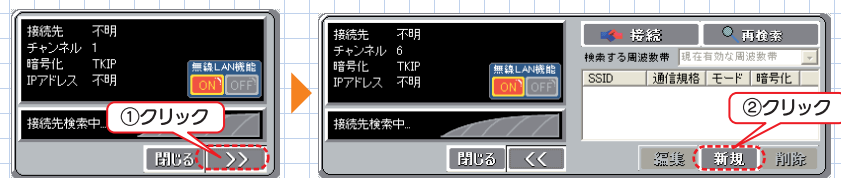
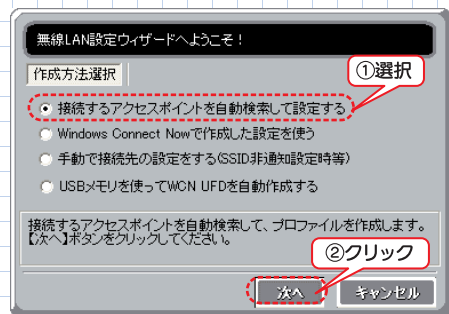
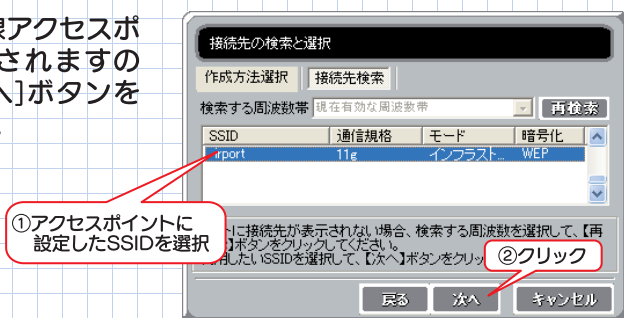
❷ 本製品のランプが点灯/点滅していることをご確認します。

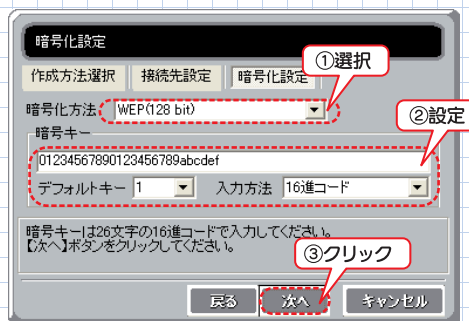
●ランプが消灯している場合は…
→別紙の[必ずお読みください]をご覧ください。

❸ 画面右下のタスクトレイ上のクイックコネクトNEOのアイコンをダブルクリックします。

ダブルクリック　13:30

❹ [>>]ボタンをクリックし、[新規]ボタンをクリックします。
⇒[無線LAN設定ウィザード]が開きます。

注意
●[新規]ボタンがクリックできない場合は…
→サポートCD-ROMのオンラインマニュアル内、【困ったときには】をご覧ください。

❺ [接続するアクセスポイントを自動検索して設定する]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

❻ 設定済みの無線アクセスポイントが検索されますので、選択し[次へ]ボタンをクリックします。

●接続先が見つからない場合は…
→別紙の[必ずお読みください]をご覧ください。

❼ 暗号化設定をします。
お使いのアクセスポイントの暗号化設定をご確認の上、[暗号化方法]と[暗号キー]を入力してください。
各項目の詳細については以下【WPA-PSKで暗号化する場合】、【WEPで暗号化する場合】をご覧ください。

暗号化しない場合

❶ 暗号化方法

「なし」を選択します。
暗号化しなくても使用できますが、セキュリティ向上のため、
暗号化することをおすすめします。

WPA-PSKで暗号化する場合

❶ 暗号化方法

WPA-PSK(TKIP)	TKIPを使用して暗号化します。
WPA-PSK(AES)	TKIPより高度なAESを使用して暗号化します。

❷ 暗号キー

ASCII (8～63文字)	アクセスポイントと同じPre Shared Keyを入力します。(半角英数字で8～63文字で入力します。)
16進数(64文字)	アクセスポイントと同じPre Shared Keyを入力します。(0～9、A～Fで64文字入力します。)

WEPで暗号化する場合

❶ 暗号化方法

WEP(64bit)	暗号キーを64bitで設定します。
WEP(128bit)	暗号キーを128bitで設定します。
WEP(152bit)	暗号キーを152bitで設定します。

❷ 暗号キー
アクセスポイントと同じ暗号キーを入力します。

●デフォルトキー
WEPで送信するキーを選択します。通常はデフォルトキー1を使用します。選択したキーを使用して送信データを暗号化します。

●入力方法

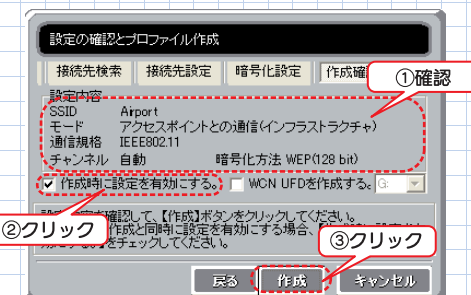
■ASCⅡ

WEP(64bit)	半角英数字で5文字入力します。
WEP(128bit)	半角英数字で13文字入力します。
WEP(152bit)	半角英数字で16文字入力します。

■16進コード

WEP(64bit)	0～9、A～Fで10文字入力します。
WEP(128bit)	0～9、A～Fで26文字入力します。
WEP(152bit)	0～9、A～Fで32文字入力します。

参考
●WEP(152ビット)について
152ビット暗号化はIEEE802.11規格で定義されている機能ではなく、他社製無線LANアダプターとの接続を保証するものではありませんので、ご了承ください。152ビットで設定する場合は、通信相手も152ビットの暗号化に対応している必要があります。
●ご使用の無線LAN製品によっては、[128ビット]に対応していない製品(弊社製WN-B11/USB、WN-B11/PRSなど)があります。これらの製品を使用する場合は、[64ビット]で設定してください。

❽ 設定内容を確認し、[作成時に設定を有効にする]にチェックを付けて、[作成]ボタンをクリックします。

これで無線アクセスポイントと通信できます。

●Microsoft社のWindows® Connect Nowは、USBメモリーなどで無線LANの設定を他の無線LAN機器に設定する技術です。クイックコネクトNEOで[WCN UFDを作成する]にチェックを付け、USBメモリーに無線LAN設定を作成すれば以下の機器で簡単に無線LAN設定ができます。
・Windows Connect Now対応の無線LAN機器(アクセスポイントやプリンターなど)
弊社製品例:WN-APG/R
・Windows XP SP2以降の無線LAN搭載機種
・クイックコネクトNEO対応の弊社製無線LANアダプター(WN-AG/US、WN-AG/CB3、WN-G54/CB3など)
クイックコネクトNEOでのWindows Connect Nowのご利用方法については、サポートソフトCD-ROMのオンラインマニュアル内【USBメモリーを使ってセキュリティ設定をする】をご覧ください。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/
2005.3.22 発行